



大島沖合

広報 きほく

PUBLIC INFORMATION OF KIHOKU

2010 May
平成 22 年
No.56

6

3月議会定例会一般質問	2
紀北町出前トークのおしらせ	14
2010 燈籠祭について	16
きほく七夕物語、夏祭り KODŌ	17
脳ドック検診実施のおしらせ	18
紀北町観光PR等活動支援事業	19
紀北町嘱託職員募集	20
町おこしリーダー研修について	21
平成 21 年度情報公開	
個人情報保護制度の実施状況	22
図書館だより	23
まちの話題	24
戸籍の窓	25
けんこうの広場	26
おしらせ	28
さわやか笑顔	30

平成22年3月 議会定例会一般質問

質問議員



※議会定例会の様子は定例会実施月に、前回の定例会の一般質問の様をお知らせしますのでご了承ください。

3月議会定例会は、3月3日から23日までの21日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、人事案件や条例制定・改正及び平成22年度予算などの町長提出議案27件、陳情2件、意見書案3件を審議しました。

3日の開会日には、議案の提案説明及び内容説明があり、人事案1件を答申し、5日には議案に対する質疑を行い、議案を各常任委員会に付託することを決定しました。

16日、17日、18日は、14人の議員が一般質問を行い、最終日の23日には、各常任委員長から付託された議案の審査経過と結果の報告の後、質疑、討論が行われ、上程議案26件及び意見書案3件を原案どおり可決、陳情2件を採択し閉会しました。

垣内 唯好議員

高速道路三浦サービスイリアについて

問

町の人口が年間400人ずつ減少しており、町内の人を対象にした商店が年々減っています。若い人が後継者として自営業をやっても廃業後の仕事がないなどの声をよく聞きます。あと3年半で大泊まで高速道路が開通します。紀北町に来る人や通過する人を対象に、町内で生産される農産物、魚介類、林産品、また、それらの第一次産品を使った加工品等を販売する場所が必要となりますが、時代が変わって、個人商店が小さな店で、少ない商品を並べていてもお客さんが寄ってくれません。大勢の業者が異業種も含めて、紀北町の店としてやるのが大事だと考えます。

そこで、三浦地内にできる高速道路の三浦休憩所内に物品販売所を作る計画がないのか、また、そのことで国土交通省と面積等具体的な交渉をされて

いますか。さらに、目的を持って紀北町に来る方は、高速から降りてくれますが、本町を通過して勝浦、白浜等へ行く人に対し、三浦休憩所で紀北町の宣伝も必要だと考えますので、いろいろ具体的な町長の見解をお聞かせします。

答

町長 三浦休憩施設内への物品販売施設等の整備については、商工会にその方向性の検討をお願いしています

が、整備後の経営や維持管理など、特に慎重にならざるを得ないこともあり、多くの専門的な意見を踏まえて判断していきたいと考えています。

町を訪れる方や通過する方を対象にした商品の販売は、流行や情報発信など様々な要素が影響すると考えられることから、大変難しい課題であり、商品開発や販売方法等を常に研究していくことが必要であると考えています。

三浦休憩施設の整備については、国土交通省からは具体的な案はまだ示されていませんが、国土交通省と常に情報の共有を図りつつ、これまで三浦地内か

ら休憩施設を経由して常時高速道路に乗り入れることが可能となることや、休憩施設内に町が自由に使用できる一定規模の用地確保、防災関係者が利用しやすい整備などについてもお願いしており、今後も引き続き要望してまいります。

玉津 充議員

平成22年度予算について

問

①平成21年9月議会で議決した紀北中学校を長

島高校跡地に移転するための実施計画予算、550万円について、これを執行せず、新たに紀北中学校を現在地で改築すると方針を転じた理由をお聞かせください。

②4階建ての長島校管理・普通教室棟を改修して、そこに本庁舎を移転する。また、特別教室棟は解体し駐車場に、運動場などは生涯学習ゾーンとする計画ですが、このことにより、町民にどのような利点があるのかお聞かせください。

③財政について、去る3月10日に財政課が作成された平成33年度までの歳入歳出シミュレーションを自分なりに解析してみました。この計画だと来年度から表示されている12年後の平成33年まで、向こう12年間にわたり、実質収支が慢性的な赤字となります。この間の累積赤字総額は、20億9200万円となります。そして、本町には、このほかに、赤羽老人ホームの改築や損害賠償裁判の結果による費用の発生も見込まれます。これらを含めた財政の将来展望と町長の見解をお聞かせください。

答

町長 ①尾鷲高校長島校舎は、すでに30年経過しており、コンクリートの劣化による剥離や老朽化による大きな修繕等、その先には建て替えも考えなければなりません。今なら合併特例債が使えることで、現在の建築基準に対応した、これから60年持つ校舎を建てるのが可能であり、子供たちのことを考えた自由な空間、交流スペース、採光の工夫された明るい校舎内、バリアフリー化など、ユニバーサルデザインに対応した校舎はもちろん、子どもたちが毎日学校へ行くのが楽しいと感じる校舎の建設を目指したいと思います。

紀北中学校は、将来にわたり、この地域における中学校教育の実践の核となることから、自由な発想の元、すばらしい校舎を作り上げていきたいと思っております。ご理解をいただきたいと思っております。

②利便性においては、現在の本庁舎が、本館、町民センター等に分散されていますが、移転後は、一つの庁舎での対応が可能となるうえ、駐車場も十分な台数を確保することができます。また、東長島公民館や社会福祉センター等と一体化することにより、多様な活用ができることや、町民の皆様が集いやすく、親しみやすい庁舎とすることができ

ます。防災面においても、生涯学習ゾーンの広いスペースを利用したヘリポートや被災地テント村を設置できることから、充実した災害復旧活動や人命救助等が展開できると考えます。

③すでにお配りしている財政シミュレーションは、平成23年度以降においても修正しており、変更要因の主なものは、人件費で平成22年度計上額に今後の退職予定者を考慮し、見直しを行ったところと

す。また、まちづくり対策として、空家バンクの登録を増やすことにより、団塊世代の定年退職者やUJイターン希望者に、町内への定住を促進していくとともに、意欲ある方に、紀北町のまちおこしリーダーとなつていただくためのリーダー育成にも取り組んでいきます。

④昨年12月に紀伊長島、海山両区の地域協議会から、町長に提出されています両区の課題、問題点等に関する意見書について、紀伊長島区6項目、海山区7項目の課題、問題点が上げられています。この課題、問題点の改善に向け、町長はどのように予算に反映されたのか、お聞かせください。

平成22年度予算で、従来の慣例を見直し、改善・改革を行うと言われています。

⑤町長は、町政運営において、従来の慣例を見直し、改善・改革を行うと言われています。平成22年度予算で、従来の慣例を見直し、改善・改革を行うと言われています。

⑥それ以外の地域協議会からは、毎年、意見書をいただいております。ご意見については、自治会等から提出される要望書とは異なり、両区あるいは町全体の方向性についてのご意見をいただいておりますと認識しており、件数、金額等での管理はしていませんが、ご意見については、関係課に周知するとともに、町民の皆様からのご要望や緊急性、効果等総合的に判断しながら、予算や施策に反映しています。これまでの事例では、紀伊長島区地域協議会では、家具転倒防止推進のご意見はいただき予算化したほか、海山区地域協議会においても、銚子川の閑散期対策や寄附金条例の制定などのご意見をいただき施策や予算に反映しています。

⑦事務的な改善としては、税務課の賦課業務において、国税連携対応業務、給与支払報告書電子申告対応業務委託事業による

岩見 雅夫議員

チリ大地震による津波警報、町民の体験を今後には生かす調査と検証が必要

問 ①各課が所管する施設や事業所など、すべてにわたって今回の津波警報発令に
応じた対応について、遺漏はなかったのか。

また、どのように検証していますか。
②全国の瞬時警報システム、いわゆるJ・アラートが放送されていますが、非常にボリュームが高く、住民の皆さんに本当に安心感を与えるものになっていないこと。
また、この瞬時警報システムは、弾道ミサイルとかゲリラ、テロ等、国家の危機管理として対応するようになっており、災害から住民を守る警報システムとしては、改善すべき点が多いと考えます。

2月28日の警報の状況はよく体験されていると思いますので、この状況を踏まえて、対策本部の責

任者としての町長の考え方を聞きます。

答 町長 ①津波警報発令に伴う町の対応は、28日午前9時に災害対策本部を設置し、9時33分に津波警報が発令され、防災行政無線により住民に周知しました。0時35分に避難勧告、午後1時15分に避難指示を発令し、警戒態勢を敷きました。その間、数回にわたる防災行政無線の放送及びケーブルテレビの文字放送による注意喚起、町内各地の防潮扉、樋門の閉鎖、巡回パトロールなど様々な津波対策を講じました。

国土交通省や海上保安庁と連絡を密にしながら、漏れのないように広報はさせていただいたつもりですが、今回は、5時間という時間があつたことでできたことであつて、これらがいかにもつとスピーディーに伝わるかを今後検証していかなければならないと思つていますし、今後の防災対策に活用すべく、沿岸部の方々を中心に避難状況等の意識調査を実施し、防災・減災の対策に役立てていきたいと考えています。

施政方針に関し、直面する重要課題について

問 ①本庁舎移転問題について本庁舎移転の基本は、行政組織のあり方をどうするのかという問題です。今回のチリ津波のような災害発生時の対策本部をどこに設置するのか。

また、現在、有効活用されているこの庁舎、議会棟、長島にも議会の部屋が現存しています。この議会棟や各課をどう配置するのか。

また、重要な機関である教育委員会や町と関係の深い社会福祉協議会、それから、町の施設との利便性や能率的な行政をどう図っていくのか、こういった点で、既存の諸施設を最大限に活用して、無駄な財政支出を排除する、そういう町の全体計画を事前に明らかにして、何よりも町民に説明することが肝要です。この点についての町長の見解と、計画を示せるのであれば、明らかにしてください。

②損害賠償請求事件について、私たち議員の多数は、裁判傍聴に参加していますが、口頭弁論の後には、必

ず短時間でも代理人に裁判の状況説明をさせること。

また、誠に緊張感を欠く裁判所の訴訟進行に対して、傍聴議員の見解や所見等をできるだけ反映させることは、極めて重要と考えます。議会側の意見も反映できるように対策チームに議会事務局も参加させてはどうか。勝訴に向かつての対策をより前に進める立場から、この点についての町長の答弁を求めます。

答 町長 ①庁舎移転について、合併協議会で旧両町が互譲の精神を持って決断されたものと認識していますし、住民目線という観点においても、合併協定を遵守すべきであると考えています。

私が示しています、平成23年度に実施設計、平成24年度に改修し、庁舎移転するという計画は、決して拙速ではないと考えています。今後においても、庁舎移転については、組織機構のあり方、今後の海山区の振興等を含め、議員の皆様のご理解をいただきながら、着実に進めていきたいと考えています。

②今後、弁護士の方々の時間の許す限り、説明会を開催するよう代

理人に要請していきます。

また、議会と連携の深い議会事務局を対策チームに参加させることについては、私が主宰する執行部内部チームのため、町長部局で構成していきたいと考えています。議会に対しては、必要な主張・立証を強く訴え、勝訴に向けて最善を尽くしていきたいと考えていますので、ご理解とご支援をよろしく願います。

中本 衛議員

防災対策の充実について

問 ①今回の南米チリの地震の影響は、幸いにも津波の高さは予想よりも低く、人的、物的被害もないとの報告に安堵したところですが。

この度の経験は、住民も本町の対策本部や各関係者の方々に
おいても、今後の地震・津波対策について、いくつか参考、また記憶になることがあつたと思
います。今回のチリ地震による
津波の災害対策本部を解散する
にあたり、現状の課題や問題点

分かりにくい状態になっていますので、改築に至ったその熱い思いをこの場で述べてください。

答

町長 ①財政面から考え

まして、30年後以降に庁舎と中学校が同時建て替えという時期になったとき、交付税措置のある有利な起債がありませ

たいと思います。したがって、以前の案よりも事前に生徒の安心が守れるものではないかと考えています。

町長 ③改築の総事業費は、概算

で12億7047万9千円を見込んでおり、移転改修より7億9254万7千円の増額ですが、その内、国庫支出金3億2156万2千円と合併特例債の交付税算入分3億8339万円の合計7億495万2千円が国より入ってくる見込みです。将来にわたる財政負担についても、今後、行財政改革や人件費の抑制等知恵と工夫に取り組み、健全な財政運営に心がけていきます。

町長 ④改築に向けた私の思いは、自

由な発想のもと、現在の教育環境に十分配慮した、子供たちが毎日学校へ行くのが楽しいと感じる新校舎の建設を目指していきたいと思えます。そのために、議員の皆様は、元より、教育委員会や学校関係者、保護者の皆様に協議を行っていきたくと考えています。

町長 ⑤当初の移転案では、平成22年

6月から7月に用地購入の議決

をいただき、その後改修に取り

掛かり、平成23年1月の3学期

から移転する予定でしたが、今

回、長島校を仮校舎として使用

するため準備期間を考えます

と、平成22年9月の2学期から

授業を行えるように進めていき

松永 征也議員

財政運営について

問

平成22年度末における

紀北町の一般会計と水道事業会計を合わせた借入金残高は145億円であり、町民一人当たり72万円にも上る額となっています。そのため、元利償還金の支払いは、年間15億5千万

円にも及んでいます。このような状況の中で、紀北中学校は現在地へ改築し、本庁舎は長島校跡地へ移転する計画が示されました。

平成33年度までの財政シミュレーションによると、平成23年度及び平成24年度において財政収支が赤字となり、しかも、平成31年度以降になると、毎年

2億円から3億円前後といった赤字に陥る見通しであり、厳しい状況となっています。このような中・長期における町財政の見通しにあっては、本町の財政

状況を強く懸念するものですが、今後における財政状況について、町長は、どのようにお考えかお

答

町長 財政シミュレ

ーションは、平成22年度予算を参考に人件費等の見直しを行っています。平成32年度には2億円を超える赤字となつていますが、合併後に、財政調整基金、減債基金をはじめ基金全体では17億2千万円の積み増しを行い、平成22年度末には総額で27億8千万円となる見込みで、将来の財政負担に備え着実に基金の蓄積を図っています。

一方、地方債残高については、繰上償還を行うなど残高の削減に努め、合併当時に比べ21億8千万円減額し、124億3千万円となる見込みで、健全財政に取り組んでいるところです。地方債の中には交付税算入率が100%の臨時財政対策債もあり、この額を除くと、約87億円の起債残高となります。

地方債の借入に当たっては、合併特例事業債、過疎対策事業債、臨時対策事業債など、交付税算入率の高い有利な起債の借入を行い、将来負担の軽減に努めていくところです。合併特例債も借金であり、安易に借り入

れをすることは、今後の町財政にとって大きな問題となります

ので、町民のために必要でない事業は行わない考えです。ただ、有利な借入金であるため、必要であるものが出来ないまま放置されることよりも、必要な事業は前倒してでも、合併特例債が活用できる間に事業を行い、将来においては行財政改革を進める中で、財政の健全化を図って

いきたいと思っています。

町立老人ホーム赤羽寮

について

問

養護老人ホームは昭和

46年建設で38年経過、特別養護老人ホームは昭和49年建設で35年経過しており、両施設とも老朽化が著しく、先の豪雨災害による浸水などにより、床が腐蝕しているところも多々見受けられる状態となつていま

す。特に養護老人ホームにおいては、お年寄りの生活の場でありながら、二人から三人ほどの相部屋であるため、プライバシーの保護や尊厳といったこと

に関しては、大変悪い居住環境であると云えます。まさに、質の向上が求められている時勢の中で、当施設においては、老朽

化が著しいうえに、現行の基準にも適合しない劣悪な状態にあることから、早急に取り組みが必要だと考えますが、町長のご所見をお伺いします。

平野 隆久議員

町長の政治姿勢について

答 町長 老人ホーム赤羽寮あまり良くないことも事実です。今後のあり方の問題については重要課題であることから、平成22年度、約1年間かけて勉強させていただいたうえで、議員の皆様、住民の皆様ともよく協議させていただき、方向性を決定していきたいと考えています。民営化を図るにしても、公営のまま行くにしても、施設の改装までには時間もかかることから、入所者の安全面等で必要となるのは、部分的にでも補修等に対応していきたいと考えています。安全・安心を守るためにスプリンクラーも設置し、調理室の改善、宿直室の環境改善、そういった整備も行っています。入所している方々に少しでもよい環境で暮らしていただきたいと考えており、引き続き、悪いところは補修しながら対応していきたいと思っております。

問

平成22年度の所信表明では、公約に掲げた施策実現のための基本的な考え方もとに、新たな施策として、自然と共生し、快適で安心して暮らせる町づくり、互いに支え合い、健康でいきいきと暮らせる町づくり、地域の資源を活かし活力ある町づくり、豊かな心を育み人と文化が輝く町づくり、自立を目指し住民と行政が共に歩む町づくり、その他の直面する重要課題の6項目に区分し、常に町民の皆様の視点に立ち、町民の皆様の声と願いを行政に反映させると述べています。前町政にギャップを感じたということでも出馬した尾上町長においては、これまでの所信表明とは大いに違い、自分のカラーを前面に押し出した所信表明になるだろうと思っていました。その内容からは、町政にかける意気込みが、私にはまったく感じ

られなく、残念でなりません。町民はあなたの考えを信頼し、あなたに町の将来を託し、町政の舵取りを任せました。役場を企業と考え、行政サービスを運営から経営に転化しようと言われる町長にとって、町長になったからこそ出来たという独自の新施策も含め、町に対する想いや施策に対する意気込みが十分に町民に伝わるよう、答弁を求めます。

答

町長 平成22年度の所信表明については、基本的な部分においては紀北町総合計画の中から、重点的に行いたい事業を述べさせていただきました。その中でも、子どもを育むための支援策、教育環境の充実、安心を支える福祉政策、地域活

力の活性化等に力を入れ、取り組みを行っています。平成22年度予算においては、乳幼児助成事業の充実、放課後児童クラブ、学校の耐震化などの新規事業のほか、腎臓機能障害の通院者に対する助成の見直しを行っています。今後も、通院者の実態を見ながら、変えるべきところは変えるという姿勢であり、これ

が最終的な決定という思いではありません。

スポーツ振興では、子どもから高齢者まで参加しやすい施策を考えるところに、父兄の負担軽減を図るため、全国大会や東海大会等への遠征費に対する補助金の見直しも行っていきます。

地域産業策では、近畿自動車道紀勢線の延伸に伴い通過型とならないよう、紀北町全体をブランド化して、魅力ある町、誘客を図るための情報発信等に努めていきたいと考えています。

熊野古道、美しい自然、四季を通じた4枚綴りのポスターも作成中です。都市部に対しどんなPRをしていきたいと思っております。

地震津波対策では、呼崎や名倉地区においても、堤防補強計画を作成し、事業の推進を図っていきます。命を守るということとで、三浦、矢口等も含め、事業を進めていきたいと考えています。県の意向が大きく左右すると思いますが、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

くるまぎ会議は、テーマを設けながら、町民のみなさんの意見を伺っていききたいと考えています。

町おこしリーダーの育成については、いろんな所へ出かけて学んでいただき、地域において学んだことを広げていただき、町おこしの核となる人たちを増やしていきたいと思っております。

くるまぎ会議と町おこしリーダーの育成は別のところから発想していますが、今後においては、結びつくところは大きい出でくるのではないかと思っています。

合併後、一本化に向けた施策については、本庁舎の問題など、いまの懸案事項をまず片付けることが一本化への道だと思っております。RDF施設、老人ホーム赤羽寮の問題などの取り組みも勿論ですが、私の町政に対する姿勢としましては、これまでの施策を踏まえつつも、自分自身の考え、思いを織り交ぜて、議員の皆様とも相談しながら、住民目線、住民と共に、そして

変革と協働を中心においてより良い町づくりに努力する考えです。決して気を抜くような町政運営はやりたくない、そのような心構えです。

防災施設の整備について

問 1946年の南海地震による津波及び1960

年に発生したチリ津波により、呼崎、名倉地区は甚大な被害を受けました。巨大地震による津波はいつ起こるか分かりません。そのためにも呼崎、名倉地区に津波避難タワーの建設が必要だと思えますが、町長の考えをお伺いします。

答 町長 紀北町は、東海地震に係る地震防災対策強化地域、東南海・南海地震に係る地震防災対策推進地域の指定を受けており、地震・津波の防災、減災対策を進める必要があることから、津波避難ステーションをはじめ、避難階段や避難路の整備等を行っています。呼崎地区では岩本樋門横の避難通路整備や呼崎自主防災モデル事業を実施しており、また、避難場所として介護老人保健施設さらりと災害協定を結ぶなど、様々

な防災対策を推進しているところです。津波避難ステーションの建設については、地区の皆様とも話をしながら、検討を進めていきたいと思っております。

学校の統合について

問 近隣の市町では学校の統廃合が進められており

ますが、本町では、合併後においてもまったく進められていません。児童・生徒数が減る中で、学校の統廃合についての町長及び教育長の考えをお伺いします。

答 町長 学校の統廃合は財政的な事情だけで判断することは考えていません。何よりも大切なことは、将来を担う児童生徒の学習の場として、ふさわしい教育環境であるかどうかです。児童生徒の立場に立った場合、基本的には豊かな人間関係、社会性を身に付ける人との出会い、競争又はクラブ活動

が出来る規模が、適正な規模であると考えています。統合についての方向性を判断する時期も遠い将来ではないと考えており、教育委員会の意見を伺いながら、地域の事情、社会の変化に対応した魅力ある教育環境の整備に取り組んでいきたいと考えています。

答 教育長 学校の統廃合については、4点を基本姿勢としています。

- ①単に定数をもって学校統廃合を進めることは避ける。
- ②全学年合わせて10名を下回る事態になれば、学校、PTA等に提案し議論をしていく。
- ③教育要求として保護者や団体より意見が出された場合、学校、PTA等と話し合い対応する。
- ④町内の各小中学校とも、現時点での学校再編成は必要ないと判断している。しかし、社会の流れに即して、学区再編の必要性が出てくる可能性があることを認識しており、町長部局と意見交流を密にし、共通認識を持ったうえで対応をしていきたいと考えています。

問 本町のスポーツクラブの活動は大変活発で、東海大会や全国大会にも出場するなど、

大変優秀な成績を収めています。昨年度と比べどのように補助金拡充を図られたかお伺いします。

答 町長 これまでは開催場所により異なり、全国大会の場合、個人では1万円から2万円、団体では3万円から4万円。東海大会の場合、個人では5千円から1万円、団体では2万円から3万円を補助していましたが、平成22年度からは、全国大会、東海大会とも開催場所での補助金としました。団体出場と個人出場との格差についても少なくするよう改めています。それにより、個人では5千円から3万円、団体の場合は、個人の金額に選手数を乗じた額を補助することで、上限15万円としました。

本庁舎移転についてと紀北中学校について

問 紀北中学校は長島校跡地に改築ということですが、現

在地に改築ということですが、その間、長島校を仮校舎に使用するため、本庁舎移転が1年先送りになるということですが、詳

しい説明をお願いします。

答 町長 尾鷲高校長島校の跡地利用に伴い、生徒の安全確保、本庁舎位置問題、将来にわたる町づくり等、総合的な判断のもと、紀北中学校については現地での改築と判断しご提案しました。紀北中学校の生徒が、少しでも早く、安全に学校生活を送れるようにするため、普通教室棟と特別教室棟の双方を、仮校舎として利用することが最良の方法だと判断したものです。このため、本庁舎移転は、平成22年度に用地取得、平成23年度に実施設計、平成24年度に改修工事と移転という計画であり、これまでに示した案と比べ、移転が1年遅れることになりましたが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

近澤 チヅル議員

公契約について

問 不況下における受注競争の激化や、公共事業の

減少が、施工単価や労務費の引き下げに繋がり、現場で働く労働者の賃金や業者の生活に大きな影響を及ぼしています。こうした中で、人間らしく働くことのできる労働条件の確保を求め、公契約条例の制定を求める自治体が全国に広がっています。また、最低制限価格の引き上げの声が高まる中、国土交通省では昨年の4月に改定を行っています。地方自治体においても同様の見直しをする方向が広まっているというのですが、紀北町でも、地域経済、仕事の可能性を前に進めるためにも検討すべきだと思いますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 本町における入札方法については、発注者として企業の健全経営を図るため、平成19年度より品質の確保、労働者の保護、元請・下請の正常な関係維持の3つの視点から、公共工事に係る最低制限価格の運用基準を制定し、適正な入札の執行と地域企業の育成に努めています。さらには、公正な競争性、透明性を一層高めるため入札制度の改善として、

平成20年6月より、原則として、すべての建設工事において一定の条件を付けた一般競争入札を行っております。ご質問の公契約条例については、全国的にも条例を制定された自治体は少なく、県下では無いように聞いています。条例制定については、県並びに各市町の状況を把握しながら対応していきたいと考えています。

答

副町長 最低制限価格に上限となっています。県では85%、国では90%ぐらいまで上がっています。工事の中身が町、県、国と規模が違うことから、それぞれ違いは出てくるものと判断するところです。町としても平成21年度の実績を見ながら、制限価格を上げる必要があると判断すれば、また検討したいと思っています。

近年、出荷量が減少しております。特に、水害のあった年からは、売上げも通常の2分の1から3分の1とも言われており、厳しい経営状況です。渡利牡蠣の現状と認識について、今後の支援策について、町長の考えをお伺いします。

答

町長 渡利牡蠣は、汽水で育つ大変珍しい牡蠣で、生産環境が過酷ゆえ生命力が強く、その種苗は遠く富山県まで出荷されていると聞いています。台風などの大雨の影響で、生産量が落ちることもあり、また、ノロウイルスや貝毒の発生などの影響を受けたこともあり、経営的に大変ご苦労されていると推察いたします。平成18年度には、全国でノロウイルスが発生したことにより、本町においても注文が減少し、これに対応するため業者とともに渡利牡蠣まつりを開催するなどの支援を行ってきました。さらには、

マスコミ等への情報発信を続けた結果、旅行社、生産者、飲食店、町が連携した幻の渡利牡蠣ツアーの実現を見ることもでき、全国的に渡利牡蠣が認知され、

紀北町特産「幻の渡利牡蠣」としてのブランドが確立しつつあると考えています。今後は、いかに高く出荷できるか、また加工や食べることが出来る場所など、こうした課題に対処しブランド化をさらに推し進めるようにできる限りの支援を行っていきたいと考えています。

子宮頸がんは予防する時代、ワクチンの公費助成を

問

子宮頸がんの99%はヒト・パピローマウイルス

の感染が原因であることから、ウイルスの感染を予防するワクチンができました。これまでに100ヶ国を超える国で予防ワクチンが承認され、先進国30ヶ国では公費による接種が広がっています。日本でも昨年12月から承認・販売され、関心が高まっていますが、現在は自費のため、3回の接種で4万円から6万円かかります。国に対し定期接種化を働きかけるとともに、町独自の助成制度を設けるべきだと思いますが、町長の考えをお伺いします。

紀北町特産「幻の渡利牡蠣」としてのブランドが確立しつつあると考えています。今後は、いかに高く出荷できるか、また加工や食べることが出来る場所など、こうした課題に対処しブランド化をさらに推し進めるようにできる限りの支援を行っていきたいと考えています。

答

町長 子宮頸がんワクチンは、昨年12月に厚生労働省が承認し、販売が開始されていますが、予防接種法の中で定期接種化への位置づけはされていません。子宮頸がんを予防していくうえで重要であると考えていることから、町村会を通して意見書の提出を働きかけていきたいと考えています。ワクチン接種が開始されてから日も浅く、町独自で公費助成をする場合、接種対象者の選定、接種医療機関の調整が不可欠であり、接種の適正年齢が小学校高学年から中学生と言われていることから、本人や保護者への説明が必要であり、学校教育との連携も重要と考えます。公費の助成については、近隣市町の動向も傾注しながら検討していきたいと思えます。

島本 昌幸議員

紀北中改築は地元業者で

問

相賀小学校の改築はその全容も見え始め、竣工

は間近と思われませんが、残念ながら、施工業者は町外の業者でしたが、町内の業者や地元材は利用してもらえたのでしょうか。

また、町長は紀北中学校の改築を表明し、現在は設計段階と思われませんが、施工にあたり、地元業者や地元材の木材を使ってもらえるよう入札条件等について検討されていますか。あらゆる業界が苦しんでいる中で、少しでも地元に戻元することを第一に考えていただきたいと思えますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 相賀小学校改築の進捗状況ですが、現在、新校舎については、すでに検査を終了し、3月15日から新しい校舎での授業が行われています。体育館については、旧校舎を解体後、改築工事を始め、完成時期は本年10月を目標としています。全体工事の完成は、体育館の完成後、外構工事を行い11月中旬の予定です。地元材の利用については、ウッドデッキを中心に内装部分に使用していますが、参入業者は非常に少ないのが現状です。

また、紀北中学校の改築に当

たつては、予算の議決をいただきましたら設計に取りかかっています。地元材の使用については、できる限り利用していきたいと考えています。

また、地元業者への対応については、今後設計を行っていきまことから、入札方法や発注方法等を通じ、努力していきたいと考えています。

渡利牡蠣まつりは消滅したのか？

問

合併前は、海山公民館前の多目的広場で4、5千人を集客するイベントが年に2回ほどあって、大変賑わっていました。合併によって消滅してしまいました。それだけに、発足した渡利牡蠣まつりに大きな期待を寄せていたのですが、昨年、今年と2年連続して中止した理由と担当課がどのような努力をされたのか。今後、牡蠣まつりを含めた海山区のイベント、特に役場所所在地である相賀での開催をどのように考えておられるのかお聞きします。

答

町長 渡利牡蠣まつりは、平成18年当時に、一部の地域においてノロウイルスが発生し、牡蠣の消費が大幅に減少している中で、安全安心な渡利牡蠣をなんとか売り込み、消費の拡大を図ろうという業者の方々の熱い思いから平成19年2月に第一回目、平成20年2月に第二回目を実施し、盛況を得たものです。そういった中、計画していた平成21年2月、さらには本年2月には残念ながら中止という結果になりました。この二回の中止の理由としては、白石湖の区域のみで生産されていることから生産量が限られており、牡蠣まつりに出荷するだけの量が確保できないこと、産地直送販売や渡利牡蠣ツアーが増加したことにより、業者の方々の手が不足していることなどがあげられます。今後とも限られた生産量の中で、いかに出荷単価を上げていくかということに力を注ぎ、更なるブランドイメージの確立に向けた取り組みに対し支援を行っていききたいと考えています。

平成22年度予算には、新たに紀北町観光PR支援事業補助金

を計上いたしました。紀北町のPRと物産販売の促進、集客交流に向けた取り組みに、この補助金を有効に活用していただきたいと考えています。

東 篤布議員

我が町の一次産業に対し、どのように取り組むのか？

問

当町の一次産業の状態をみますと、将来に夢が持てない、光が見えてこないのが現状だと思います。特に林業については、材木業界の不況もあり、紀伊長島区で20数社あった会社が2社を残すのみとなってしまうました。地場産業を支えていくため、地方行政として何か出来ることはないかと考えています。例えば、木を使った町営住宅など、一生懸命頑張っている皆様都希望の持てる答弁をお願いします。

答

町長 林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷や

林業従業員の減少、高齢化など依然として厳しい状況にあります。間伐材の有効活用については、林道等の柵杭や遊歩道の階段、木製布団籠などに加工され、利用されています。当町には平成21年度、間伐材利用コンクールで林野庁長官賞を受賞された家具加工業者の方がいらつしやるなど、先進的な活動もみられ、このような簡易加工材や家具などの加工品の間伐材を町の施設に、利用できないか検討していきたいと考えています。

地元木材の活用については、補助事業対象施設や庁舎等の公共施設建設時には、できる限り利用していきたいと思えます。また、町内の木材・加工・建築業者を中心にグループを組織して、地元材の販売活動等を行っており、町も協力していきたいと思えます。

町営住宅も、建て替え時期がきているものもあります。ただ紀伊長島区においては、民間のアパートもたいへん多くありますので、その辺の競争性についても考えながら行っていききたいと考えています。

紀北中学校や他校舎の構造について

町長 紀北中学校の改築について、校舎の構造は、鉄筋コンクリートにするか、木造にするか、現時点では結論に至っていませんが、木造建築でも耐震化は十分に可能であると認識しており、今後、基本設計、実施設計の中で、事業費、構造、配置、防災面等について、議員の皆様方にご説明するともに、ご意見を伺っていききたいと思っております。

問 紀北中学校を新しく建てる、相賀小学校のような中庭のある素晴らしいものを建てるのは、うれしいのですが、他にも古い学校があります。全て新しくするのであれば、理解できますが、それでは財政が破綻します。まず予算を付ける前に総合計画を立て、優先順位を議員とともに決めていくべきではないですか。

また、大切な子どもの入る学校は、安全な場所に木造で建てるような計画をしていただきたいと思っております。

今年度、1年生がゼロという学校もありました。前教育長も、今の教育長も、統廃合を考えるのは、生徒数が10名を切ったときか、父兄から声が上がったときと言われていますが、父兄からはなかなか言えないということも聞きます。そこで、そろそろ政治的判断をしないといけない時期がきているのではないかと考えますがいかがですか。

答 木材の利用については、構造面を含め、地元の木材を可能な限り利用することを、設計時に十分に検討し、配慮したいと考えています。

他の学校については、学校施設耐震整備計画に基づき、まず児童生徒の安全を図ることが第一と考えていますので、ご理解を願いたいと思います。

また、これらはあくまでも応急処置ですので、老朽化したときには、建て替えという問題がでてきます。そのときには、統廃合を十分考えたうえで配置していかないと、全てを建てるということとは、財政破綻のもとになると考えます。

また、これはあくまでも応急処置ですので、老朽化したときには、建て替えという問題がでてきます。そのときには、統廃合を十分考えたうえで配置していかないと、全てを建てるということとは、財政破綻のもとになると考えます。

荷坂やすらぎ苑の交通費用について

討っていききたいと思っております。

問 この交通費は、隣村に火葬場を建てるにあたって、事故の多い荷坂を通らないといけないことから、提案された1件あたり2万円のバス補助金です。特に今、高齢化が進んでおり、誰かに乗せてもらわなくては火葬場に行けません。すぐにというわけではありませんが、この補助金の復活を考えていただきたい。

答 町長 火葬場送迎用自動車借上料助成は、行財政改革の取組みの中で検討し、平成19年度から廃止させていただきました。

その後、荷坂やすらぎ苑をご利用していただいている中で、設立当初、懸念されていた交通安全上の問題もさほど生じていないとお聞きしています。また、各自で荷坂やすらぎ苑に行かれることが、定着してきているようで、引き続き経過を見守っていきたいと考えていますが、先ほど、議員が言われたような事情も十分配慮しながら、今後検

討っていきたいと思っております。

奥村 武生議員

津波対策について

問 東紀州は独特な地域にあります。特に長浜地区の問題については、急傾斜地であり、警報が出てゲートが閉まると孤立します。非常に特殊な地域であり、対策が必要です。今回の津波でも、長時間、高台に待機する人があり、休むところすらなかったという状況です。このことについて、今後の対策をお聞きしたい。また引本の堤防についても、高潮対策で作られたものであり、津波対策には、不備な面もあると考えますがいかがですか。

に、雨露をしのぐ建物はありませんが、今回、地区住民の方から一時避難場所の高台にある空き家を活用してはどうかとのご提案がありましたので、町としても早速、現地を確認し、地域住民の意向を所有者にお伝えしました。このように、自治会と協力体制を敷きながら津波対策を推進していききたいと考えています。

引本浦海岸堤防については、県管理の海岸保全施設であり、渡利区から引本区の旧市場までの区間で、平成20年度に、老朽化による補修・補強工事と階段の設置が完了しています。旧市場から旧海山漁協事務所までの区間も、同じように補修・補強等が必要な状況ですので、県に要望していきます。また、全県的に海岸保全施設の現地調査・点検業務等を実施しており、引本浦の堤防についても、調査後の健全度評価をもとに補修・補強工事の予定と聞いていますが、早期に事業着手されるよう、引き続き県に要望いたします。

答 町長 長浜地区では、チリ地震に伴う津波に備え、県道にある2つのゲートを閉鎖しました。これは設置後初めてのことであり、長時間にわたり、大変ご不便をおかけしました。同地区の津波避難場所

予算について

情も十分配慮しながら、今後検

問

費用対効果の小さい工
事や不条理な予算よりも、
住民の生活が第一ではないです
か。本庁舎の移転や紀北中改築
などに、合併特例債を使えるだ
け使うということでは、最終的
にすべて住民に負担がかかって
きます。学校の統廃合等や老人
ホームの正しい方向性を見出し、
財政健全化と結びつけてやるべ
きだと考えますがいかがですか。

答

町長 合併特例債は非常
に有利な起債ですが、費
用対効果を十分考え、事業を行っ
ていくことが必要だと思えます。
ただ、ばら撒きのようにこれを
使うことになれば、将来に大変
な負担を残すことになるうかと
思います。しかし、本町には、
まだこれからやらなければいけ
ない事業があり、合併特例債が
活用できる平成27年までに取り
組んでいきたいと思えます。

引本湾の現状をどう認 識しているか

問 引本湾では、漁師の皆
さんの生活の場が汚染さ
れ、随分苦勞しています。浮遊

ごみの問題もありますが、先日、
海底にもたくさんごみが溜まっ
ていました。このような現状に
対し、抜本的な対策を立てるよ
う県のほうに上申していただき
たいと思えますがいかがですか。

答

町長 引本湾は県が管理
する港湾です。県と町に
おいて、年度毎に委託契約を締
結し、湾内浮遊ごみの回収、施
設内の清掃、公園樹木の剪定等
について、随時、実施していま
す。特に、台風の後の流木等の
浮遊ごみについては、迅速な回
収・処理が求められることから、
漁業組合にも協力をお願いして
います。

雇用対策を質す

問

多くのの方が真剣に働く
場を求めて職安を訪れて
います。本町としても国からの
交付金を最大限に活用し、離職
者対策を進めていかななくてはな
らないと思えますが、いかがで
すか。

答

町長 雇用の対策につい
ては、今回、緊急雇用創
出事業として2400万円、ふ

るさと雇用再生特別基金事業と
して2700万円を予算化して
います。役場自体は行財政改革
で人件費を削減しており、直接
雇用は難しいと思えますが、雇
用が生まれるような施策を講じ
ていくべきだと思っています。

子どもを大切にし、か つ、子どもの将来を考 えるべき

問

特に通学路の安全対策
について、引本小学校の
校門の前など、押しボタン式等
の信号機を付けないと、本当に
子どもの安全が守れないと思い
ますがいかがですか。

答

町長 今後の紀北町を
作っていくのは、今、子
どもといわれる世代です。そう
いったものに光をあてながら施
策を行っていきたくて考えてい
ます。道路については、公安委
員会や県とも相談しながら議論
していきたくて思っています。

谷 節夫議員

紀北町振興計画について
高速道路が開通したと
きに紀北町を単なる通過
地点にしては絶対にいけない。
そのために振興計画は絶対必要
です。振興にもいろいろありま
すが、平成20年2月に紀北町の
観光振興プランができていま
す。それは、紀北という字をも
じって、「きもち、ほっと、く
つろぐ町 きほく」という立派
な振興プランです。古道で、魚
まちで、銚子川で、熊野灘で、
人と自然に癒される「廻りのま
ち」の実現のプランを立ててい
ます。この振興プランについて
町長はどこを重点的に推進して
いくのか。

問

また、港で紀北町の産物であ
る魚介類や農作物を料理して売
る施設を計画するお考えはあり
ませんか。

答

町長 高速道路が延伸し
てきまして、無料化の実
験区間ともなりますので、東紀
州への来訪者は、さらに増加す
るものと思っています。

基本的には第1次総合計画

によって、観光を中心としたま
ちづくりの推進について、いろ
いろと書いてあり、紀北町観
光振興プランを基本として進め
ています。高速道路が開通した
ときに、その計画と合致させな
がら、「海・山・川」などの魅
力ある資源の掘り起こしや集客
施設等の魅力アップをしていか
なくてはいけない。そうした中
で、くるまご会議でも、魅力アツ
プ等も行っています。今後、本
町をどのように町外に発信して
いくか、その部分が大事だと思
います。この紀北町には、素晴
らしい自然や歴史文化、それに
美味しい食べ物もあります。そ
れらを活用しながら留める、ま
た、観光圏と申しまして、東紀
州、伊勢市も巻き込み、長く留
まり、いろいろなところを回っ
ていただくというような、大き
なくくりでの観光の誘客も考え
ていかななくてはならないと思っ
ています。高速道路が開通する
までの、この約2年の間にどう
いう施策ができるか、模索しな
がら、議員の皆様からもご指摘
をいただきながらやっていきたく
て思っています。

また、港市は毎回行かせてい

いただき、いろいろお話も聞いています。施設については、県の所有地であり、漁業者の方も利用されている広場でもあります。そういったことも考えながら、皆さんの意見も聞き、どういう形が、正しいあり方なのかを検討させていただきます。

東 清剛議員

本庁舎移転と紀北中学校校移転について

問 昨年の9月議会で紀北中学校を長島校跡地に移転するための実施設計予算が議決されましたが、それが施行されず、一変して現在地で改築するとの方向転換がなされました。町長は議会の議決をどのように受け止めているのか、前奥山町長の移転方針から現在地での改築に変更した理由、プロセスと、新築と移転では約8億円の財源が必要になるとのことですが、町長のお考えをお伺いします。また、長島校跡地の土地確保はどのようなになっていますか、

経過をお尋ねします。

答

町長 紀北中学校の移転に向けた実施設計予算を減額することは、大変申し訳なく思っています。学校施設の耐震化は、合併特例債の充当が可能となり、大きく前進し、現在も順調に進んでいます。このような中、将来にわたり紀伊長島地区の中学校の核となる紀北中学校を改築し、安全で快適な学校生活を送らせてあげたいという結論に至りました。

新校舎のコンセプトとしては、「学校生活は楽しくあるべき」であると考えます。地域に愛され、地域とともに歩み、地域文化の中心の場となり、子どもたちが健やかに明るく学習できる場であることが重要です。財政的な面については、改築にも合併特例債が活用できることも重要な点だと思っており、1億円の自主財源で8億円の増額ができ、費用対効果としても、耐用年数30年が60年もつなぐ、いろいろなことがあります。また、用地の取得については、本年4月早々に申請書を県に提出し、6月を目途に町議会及び

出し、6月を目途に町議会及び県議会の議決をいただき、契約していきたくと考えています。**町長の所信表明について**

問

①奨学金貸与制度について、貸与額の拡充をしたいと思います。詳しいことをお聞かせください。

②地域の資源を生かし、活力と魅力あふれるまちづくりの施策について、農業振興、林業振興の具体的な施策をお答えください。

③産廃訴訟に係る損害賠償請求事件の対策チームが設置されていますが、勉強・検討がどのような経過で行われているのかお答えください。

④くるまご会議について、広報で委員を公募していますが、現在の状況を説明いただきたい。

答

町長 ①平成21年度では、貸与枠が大学生10名、高校生10名でしたが、平成22年度は、大学生15名に拡充して予算計上をしています。高校生は、これまでの実績や国の公立高校の授業料の無料化に向けた動きを受け、5名とさせていただきます。

また、農地法等の改正により、農地利用集積円滑化事業が創設され、農地の効率的な利用集積に努めるとともに耕作放棄地の農地利用が促進されるものと考えています。4月からは、戸別所得補償モデル対策事業がスタートします。本町でも、国、県と連携を密にしながら、事業を進めていきます。有害鳥獣対策は、駆除や獣害防護柵等の設置に対する助成を継続し、今後は、さらに地域と一体となった防除体制の構築に努めたいと考えています。林業については、森林整備の充実に努め、林道基盤整備を計画的に進めます。また、地元材の普及についても、木材協同組合・

ました。私としては、希望される方に1人でも多く貸与し、子育てを支援していきたく考えました。この制度については、まだまだ改善すべき点もあると思いますので、引き続き改善に努めたいと思います。

②農業への取り組みは、用排水路・井戸ポンプ、ため池、頭首工等の調査・施工を実施し、農業生産基盤の整備に取り組んでいます。また、農地法等の改正により、農地利用集積円滑化事業が創設され、農地の効率的な利用集積に努めるとともに耕作放棄地の農地利用が促進されるものと考えています。4月からは、戸別所得補償モデル対策事業がスタートします。本町でも、国、県と連携を密にしながら、事業を進めていきます。有害鳥獣対策は、駆除や獣害防護柵等の設置に対する助成を継続し、今後は、さらに地域と一体となった防除体制の構築に努めたいと考えています。林業については、森林整備の充実に努め、林道基盤整備を計画的に進めます。また、地元材の普及についても、木材協同組合・

森林組合等と連携し、需給拡大や販路拡大を促進するとともに、木造住宅新築奨励金事業による助成を継続して実施します。③2回の会議を開催し、準備書面の内容の協議や、町民の皆様に対する情報をお伝えする方法について検討しました。今後は、弁護士と協議しながら、行政が行うべき調査・研究等を行っていくほか、町民の皆様や職員間の情報の共有を図っていきたくと考えています。

④「すべては住民目線で」、「すべては住民とともに」を基本として考えに基づき開催するもので、一般公募による委員や知識経験を有する委員等、おおむね10人の委員を委嘱し、テーマ毎にご意見をいただくことにしています。3つのテーマで開催の準備を進めており、先日、一般公募委員の募集を行いました。「行政サービスのあり方について」は2名、「銚子川流域の魅力アップについて」は5名、「まるごとブランド化について」は3名の方の応募がありました。新年度早々に会議を開催していきます。

また、農地法等の改正により、農地利用集積円滑化事業が創設され、農地の効率的な利用集積に努めるとともに耕作放棄地の農地利用が促進されるものと考えています。4月からは、戸別所得補償モデル対策事業がスタートします。本町でも、国、県と連携を密にしながら、事業を進めていきます。有害鳥獣対策は、駆除や獣害防護柵等の設置に対する助成を継続し、今後は、さらに地域と一体となった防除体制の構築に努めたいと考えています。林業については、森林整備の充実に努め、林道基盤整備を計画的に進めます。また、地元材の普及についても、木材協同組合・

紀北町出前トーク＜平成22年度版＞

町職員が皆様の主催する地域の集会・学習会などにお伺いし、テーマに沿ってトーク(対話)します。

町の施策や事業について何か関心のあるテーマはありませんか？

★皆様で考え、これからのまちづくりに活かしてみましよう！

▼申込期間：平成22年6月1日(火)～平成23年2月10日(木)

▼実施期間：平成22年7月1日(木)～平成23年2月25日(金)

☆申込対象：町内に在住する又は在勤の方(区・自治会、企業、NPO、仲間同士など)で、おおむね10人以上が参加する集会。

☆出前トークの内容：平成22年度「紀北町出前トークテーマ」一覧表からお選びください。

☆開催日時：土・日曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く午前9時から午後9時までの間で相談のうえ決定します。

☆開催時間：30分～90分程度とします。

☆費用等：出前トークにかかる費用は無料ですが、それ以外の経費(会場使用料など)は依頼される団体でご負担してください。

☆お願い：この出前トークは、町民の皆様が主催する催しに、町の担当職員などを講師として派遣するものです。出前トークに関する質疑や意見交換を含みますが、個別相談を行ったり、苦情や要望をお聞きする場ではありませんのでご理解ください。

【問い合わせ・申し込み】

本庁企画課 広報係

TEL 32-3903 / FAX 32-2331

E-mail kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp

平成22年度「紀北町出前トーク」テーマ一覧表

No.	テーマ	テーマの概要	担当課
1	紀北町の行財政改革について	紀北町行財政改革大綱及びアクションプログラム（集中改革プラン）についてお話しします。	総務課
2	紀北町の情報公開制度について	紀北町の情報公開制度の現状と今後のあり方についてお話しします。	総務課
3	紀北町の財政状況について	紀北町の財政状況についてお話しします。	財政課
4	地震津波対策について	地震・津波の災害から身を守るための方法についてお話しします。	危機管理課
5	消防・救急について	（救急講習）公共施設等に設置されております AED の取り扱い及び心肺蘇生法についての指導とお話しをします。	危機管理課
6	交通安全・防犯対策について	交通安全・防犯活動及び対策についてお話しします。	危機管理課
7	総合計画について	平成19年度からスタートした第1次総合計画についてお話しします。	企画課
8	広報広聴活動について	広報きほく、紀北町ホームページや出前トークなどの広報広聴活動についてお話しします。	企画課
9	町税について	町税に関する基本的な事項についてお話しします。 （町民税、固定資産税、軽自動車税）	税務課
10	戸籍・その他の届出について	戸籍法、住民基本台帳法等に関する諸届けと本人の確認事項についてお話しします。	住民課
11	国民健康保険について	国民健康保険全般についてお話しします。	住民課
12	ごみの出し方（分別・リサイクル）について	家庭から出るごみの出し方やリサイクルについてお話しします。	環境管理課
13	犬・猫の飼養、人との関係について	狂犬病予防法、犬・猫の基本的な性質や問題行動の予防についてお話しします。	環境管理課
14	健康づくりについて	健康づくりや疾病予防についてお話しします。	福祉保健課
15	獣害対策などについて	農林産物獣害対策事業を中心にお話しをします。	産業振興課
16	木造住宅新築促進について	町内材の利用促進を図ることを目的とし、住宅の新築等に関し奨励金制度についてお話しします。	産業振興課
17	森林のもつ公共性と植林を中心に施業の仕方などについて	林業の現状、森林のもつ公益的役割。植林・育林についてお話しします。現場説明も可能です。	産業振興課
18	漁港施設の維持管理の現状について	漁港施設の現状と今後のあり方についてお話しします。	産業振興課
19	悪質商法について	悪質商法などによるトラブルに巻き込まれないため、事例紹介や対策についてお話しします。	産業振興課
20	公共土木施設の維持管理の現状について	町と地域住民の関わりについてお話しします。	建設課
21	町営住宅の現状について	入居状況及び維持管理と今後のあり方についてお話しします。	建設課
22	教育委員会制度について	教育委員会の制度内容についてお話しします。	学校教育課
23	食育について	食に関する教育の現状と課題についてお話しします。	学校教育課
24	子どもの居場所づくりについて	現在実施している「いきいきこども学園」についてお話しします。	生涯学習課
25	紀北町の文化財について	熊野古道など町内の文化財の保護についてお話しします。	生涯学習課
26	水道事業について	水道事業の概要、安全でおいしい水道水の供給等についてお話しします。	水道課

※「紀北町出前トーク」テーマ一覧表にないものは企画課広報係までご相談ください。

2010きほく燈籠祭についてお知らせ

今年の燈籠祭は7月24日(土)午後3時から、紀伊長島区長島 長島港にて開催されます。

大燈籠製作に参加しませんか？

ふれあい広場マンドロでは、毎週月～土曜日の午後7時30分より大燈籠の製作作業が行われていますので、どなたでもお気軽に作業に参加してください。町民全員の力で燈籠祭を成功させましょう！！

ご協賛のお願い

燈籠祭は皆様方のご協賛により運営しております。今年もこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●福々来々！地元パフォーマー募集！！

燈籠祭実行委員会では、燈籠祭当日のステージでパフォーマンスされる地元自慢のパフォーマーを募集します。パフォーマンスの内容・ジャンル等は問いませんので、お誘い合わせのうえぜひご参加ください。(ただし、パフォーマンス内容については実行委員会にて検討させていただく場合があります。)

参 加 資 格：下記の燈籠祭の主旨に賛同し、運営等にご協力いただけるグループ(個人)
イベント参加者会議等に必ず出席いただけるグループ(個人)

申し込み締切：6月11日(金)

決 定 通 知：申し込み代表者の方に直接電話にてご連絡いたします。

★燈籠祭は町内の多くのボランティアの協力を得て実施している祭りで出演者の方々にもできる範囲のボランティアとして、当日の運営スタッフまたはごみの回収などにご協力いただけます。

●メッセージ花火の募集について

恋人や家族、親友・・・あなたの大切な人へ、メッセージと花火のプレゼント
恋人への思い切ったプロポーズ、両親への感謝の気持ちなど、明るい内容なら何でもOK！！
燈籠祭当日あなたのメッセージを会場のスピーカーで伝えた後に、打ち上げ花火が夜空を彩ります。
※10発限定の打ち上げのため、申し込みは先着順とさせていただきますのでご了承ください。

内 容：プロポーズ、感謝の気持ちなど明るい内容なら何でもOK！！
(誹謗中傷、企業広告等はお断りさせていただきます。)

料 金：1発5,000円(4号玉・花火直径約120mから(応相談))

申し込み締切：7月16日(金)

決 定 通 知：申し込みの方に直接電話にてご連絡いたします

※雨天等で延期の場合でもキャンセルはできませんのでご了承ください。



問い合わせ・申し込み

燈籠祭実行委員会(ふれあい広場マンドロ内) TEL 47-5378

E-mail: info@touroumatuuri.com

〒519-3204 紀北町紀伊長島区東長島 287-15

きほく七夕物語

あなたも天の川の星のひとつを創ってみませんか？

日時 7月3日(土) 午後6時～(雨天順延/小雨決行)
場所 銚子川(キャンピングpin 海山)種まき権兵衛の里

『みんなの願いを星に込めて、七夕の夜、銚子川が天の川にかわる』

海山区の清流銚子川において、本年も『きほく七夕物語』を開催いたします。

この日銚子川に、明かりが灯る2010個の『願い星』カプセルにみんなの願いを書いた短冊を入れて銚子川に流します。

当日、川原には、約600個の小さな明かりの星座群が出現。また、胡弓や笛などの生演奏、今年には神楽による舞や書道パフォーマンスなどの「和の空間」を随所に演出しています。

あなたも地上の天の川に自分だけの願いを込めた『星』を流しにきてください。

※当日は、会場付近に駐車場を設けておりません。海山



区内『多目的広場』と『銚子川河川敷』の駐車場をご利用ください。駐車場からはシャトルバスで会場までお越しください。

……参加募集のお知らせ……

○実行委員になって、一緒に『きほく七夕物語』をつくらう

現在、きほく七夕物語実行委員会では当日及び準備段階のご協力を頂ける方を募集しております。当日、スタッフとしてご参加頂ける方、このイベントにご興味のある方、仲間になって一緒に祭りを作りますませんか？参加ご希望の方は実行委員会までお問い合わせください。お待ちしております。

○生け花出展の募集

今年も昨年に引き続き、種まき権兵衛の里にて生け花の展示を予定しております。お

披露目の場として是非ご利用ください。出展ご希望の方は、実行委員会までお問い合わせください。

○大事な人と『ハート型願い星』を流そう

『ハート型願い星』を流しませんか。二人の絆を更に強めたい方や遠距離恋愛中の方、恋人同士、ご夫婦、ご兄妹などカップルにお勧めです。参加ご希望の方は実行委員会までお問い合わせください。(数に限りがあります)

後援

紀北町、紀北町教育委員会

問い合わせ

きほく七夕物語実行委員会事務局(紀北町商工会内)
 TEL(47) 0576

2010きほく夏祭りKODO いかだレース参加チーム募集

2010

きほく夏まつりKODO

日時 7月31日(土)
午後2時～9時30分
場所 引本魚市場

参加資格

小学校5年生以上、健康で泳げる方

参加料(一人あたり)

大人 1,000円
高校生以下 500円

申込期間

7月9日(金)まで

競技方法

2名以上4名以下(小学校4年生以下が乗員する場合は保護者同伴)のチームで、手作り、または実行委員会が用意したいかだを漕ぎ、ブイを往復するタイムレース

問い合わせ

夏祭りKODO実行委員会
 いかだレース責任者上村さん
 TEL090(7602)8108
 実行委員長中村さん
 TEL090(8860)4437

募集定数

手作りいかだレース 20チーム

一般参加レース 20チーム

一般参加レース 20チーム

(各レースとも募集定数になり次第締め切らせていただきます。)



国民健康保険からのお知らせ

～平成22年度 脳ドック検診実施について～

紀北町国民健康保険では、保健事業の一環として疾病の早期発見・早期治療・重症化の防止を目的に脳ドック検診を実施します。受診を希望される方は下記の要領により応募してください。

脳ドック検診は、「認知症」の原因の一つと考えられる「脳動脈硬化」や自覚症状のない「脳梗塞」を発見したり、「脳卒中」や「くも膜下出血」の予防につながります。「認知症」は早期治療を行うことにより、程度を軽くしたり、進行を遅くすることができます。

《 脳ドック検診募集要領 》

- 募集対象者** 紀北町国民健康保険に加入されており、以下の全てに該当する方
 ①35歳以上の方（平成22年8月1日現在）
 ②加入期間が1年以上の方
 ③過年度分保険料に滞納がない世帯の方
 ④平成20、21年度に受診されていない方
 ※体内に電子電気部品を装着されている方や安全の確認ができない体内金属がある方、妊娠中または妊娠の可能性のある方は受診できません。
- 募集定員** 60名（定員を超えた場合は抽選となります。結果は7月に通知いたします。）
 ※はがきは一人1枚のみ有効です。
- 応募方法** 下記の記入例を参考に官製はがきに必要事項を記入の上、応募してください。
 ①「脳ドック希望」と明記 ②受診希望月（9月・10月のどちらか）③住所
 ④氏名 ⑤性別 ⑥生年月日 ⑦電話番号 ⑧国民健康保険被保険者証の記号番号（6けた） ⑨尾鷲総合病院の診察券番号（現在診察券をお持ちの方のみ）
- 応募締切** 6月30日（水）役場必着
- 受診期間（予定）** 9月から10月末日【土・日曜日、祝日を除く】
 ※9月・10月のどちらかを選択していただきます。
 （ご希望にそえない場合がありますので、ご了承ください。）
- 検査内容** M R I（頭部の断面図）・M R A（頭部と頸部の血液の流れ）
- 検査機関** 尾鷲総合病院健診センター
- 自己負担金** 6,900円（費用額 23,000円×30%）

【応募はがき記入例】

表	裏
〒519-3492 紀北町海山区相賀 495番地8 紀北町役場 住民課 国保・年金係 行	①脳ドック希望 ②希望月 ③住所 ④氏名 ⑤性別 ⑥生年月日 ⑦電話番号 ⑧国保被保険者証記号番号 ⑨尾鷲総合病院診察券番号

問い合わせ

本庁住民課 国保・年金係
Tel 32-3907

紀伊長島総合支所住民室
国保・年金係
Tel 47-1111

みなさんの活動で紀北町の魅力を広げましょう！ 「紀北町観光PR等活動支援事業」を募集します。

〈目的〉 団体又はグループが住民と町の相互理解と信頼のもとに住民が自ら企画・提案し、実施する「紀北町の認知度アップ・情報発信のための活動（観光PR等活動）」に対する支援を行い、地域の魅力を高めていくことを目指します。

〈対象活動〉 観光PR等活動で、次のテーマに沿ったものとする。

- (1) 地域の特色（個性）を打ち出すことができ、町外への情報発信に寄与する事業（イベント等を含む）で、継続性・将来性のある活動
- (2) 住民自らの企画・提案・実施による魅力づくり・認知度アップに関する事業で継続性・将来性のある活動

〈補助対象団体〉

- (1) 紀北町内に活動拠点を有する構成員5人以上の団体で、代表者が町内に在住し、企画した活動の完了まで責任を持って遂行できる団体であること。
- (2) 事業完了後も継続して活動を行うことができる団体等であること。
- (3) 当該年度に紀北町その他から本補助金の目的と同様の主旨の補助金の交付を受けていないこと。
- (4) 前項の団体等については、営利を追求することを主目的とするもの、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条に定める暴力団又は暴力団等と密接な関係のある団体を除くものとする。

〈補助金額〉 補助対象経費の10/10以内 限度額20万円（千円未満の端数切り捨て）

* 交付団体数、事業内容等により要望補助金額に満たない場合があります。

〈補助対象期間〉 決定の日から平成23年3月31日まで

〈申し込み期間〉 6月1日（火）～ 6月25日（金）

〈審査〉 申し込みされた活動内容について、申し込み書類による書類審査と企画提案説明による本審査があります。

* 詳しい内容（募集要項）、要望書等（所定の用紙）の記載方法などについて質問や事前相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

〈問い合わせ・申し込み〉 本庁 産業振興課 商工観光対策室 観光係 Tel 32-3905



水田農家のみなさんへ！

戸別所得補償モデル対策の加入申請を受け付け中です。

○各事業のご案内状況について

・**米のモデル事業** 主に伊勢農協が加入申請のご案内をしています。

対象者 水稻を作付けしている方で、農業共済加入者
対象面積 水稻作付け面積から10アールを差し引いた残りの面積
交付金額 10アール当たり1万5千円

・**水田利活用自給力向上事業** 主に紀北町地域水田農業推進協議会が郵送にて、ご案内をしています。

対象者 水田で水稻以外の作物を作付けしている販売農家の方
※平成22年中に収穫、開花したものが対象です。
景観作物（れんげ、コスモス等）につ
きましては別途にご相談ください。
対象面積 1アール以上
交付金額 10アール当たり1万円（景観作物、花卉、花木（新植のみ）等は8千円）

○加入申請の締め切り 6月30日（水）

詳しい内容についてのご相談、申請の受け付けは下記窓口までお願いします。

【相談、受け付け窓口】

・紀北町地域水田農業推進協議会

本庁産業振興課 農政係 Tel 32-3905 又は、紀伊長島総合支所 産業建設室 Tel 47-1111



紀北町嘱託職員募集

職種及び採用予定人員

事務補助員 4名

応募資格

紀北町内に居住し、普通自動車免許を取得または取得見込みで、心身共に健全な方

基礎的なパソコン操作（ワード・エクセル等）ができる方

明るく丁寧に対応できる方

採用予定年月日

平成22年7月1日（木）

雇用期間

採用日から年度末までとし、勤務成績により最初に任用した年度末から起算して4年を経過するまで。

募集期間

6月1日（火）～6月16日（水）

午前8時30分～午後5時

（ただし、土・日曜日は除く）

提出書類（各1通）

①申込書兼履歴書（本庁総務課職員係及び紀伊長島総合支所総務室で交付）

②健康診断書様式（本庁総務課職員係及び紀伊長島総合支所総務室で交付）

※健康診断は、指定様式において必ず受診すること

③普通自動車一種免許の写し

試験日及び場所

6月23日（水）午前9時から 紀北町町民センター

試験の内容

教養試験、面接

合格者の発表

決定後本人に郵送にて通知

勤務先

建設課（海山区相賀） 財政課（海山区相賀）

福祉保健課（海山区相賀）

紀伊長島総合支所住民室（紀伊長島区長島）

賃金及び退職年齢等

紀北町に勤務する嘱託職員に関する規程に準ずる

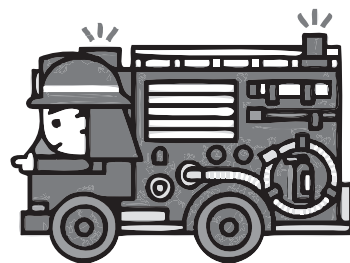
【書類提出先及び問い合わせ】

本庁総務課職員係 TEL 32-3901

三重紀北消防組合からのお知らせ

設置していますか住宅用火災警報器

～本気で考えていますか、火災のこわさを！～



町内の寝室を有するすべての住宅に、平成20年6月1日から、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅火災で就寝時の逃げ遅れにより、亡くなった方の6割以上が高齢者の方で占めていますが、幼い子どもや青壮年期の人も含まれています。火災からあなたの命を守るために早期に設置してください。

警報器種別 煙式（NSマークが目印です）

設置場所は、寝室はすべて。



2階に寝室がある場合は、2階の階段の上部にも必要です。

これ以外の場合にも設置の必要がある場所もあります。

なお、台所には設置義務はありませんが、火気を使用する場所ですので設置を推奨しています。

※悪質な訪問販売が急増しています。消防署や市・町が業者に販売を委託したり直接販売することは一切ありません。訪問販売があった場合や設置等で不明な点は、三重紀北消防本部予防課 22-2051までご連絡ください。

「町おこしリーダー研修」参加者募集!

紀北町を生き生きと元気な町にするために、自らの創意と工夫により特色のある豊かな町づくりを推進する若手リーダーの養成を目的とした研修事業を開催します。

研修では、アドバイザーの指導により町づくりの進め方や地域資源を活用した新企画・新製品等の立案や、調整力、プレゼンテーション力等を研修します。

町づくりの先進地を訪ね、中心人物に会い、成功の秘訣や失敗談、裏話等を取材していただきます。その後、研修のまとめとして、視察研修の成果報告会を公開で行う予定です。

研修終了後は、町の活性化に努めていただける意欲のある方の公募をお待ちしています。
<研修アドバイザー>

財団法人 三重県産業支援センター 副理事長 山川 進 氏
(プロフィール)三重県職員として企業誘致活動に長く携わる。

平成15年度三重県農林水産商工部産業集積推進チームマネージャー：四日市臨海工業地帯の再生が、構造改革特区第1号を受ける。同年、内閣官房及び経済産業省の全国で町づくりの現場で活動している33人「地域産業おこしに燃える人」に選定される。平成18年度三重県農水商工部総括室長(商工・科学技術分野)就任。平成21年度から三重県農水商工部理事(現職着任)。他にも、北勢地域の観光振興や、新たな産業集積を目指した家庭用燃料電池実用化試験など幅広く活動。

< 研修対象者 >

- ・紀北町在住者でおおむね20才～40才までの社会人
- ・公募人数 6名 (応募者人数が定員を超えた場合は、書類選考(動機、活動実績等)により決定いたします。)

< 研修日程 >

- ・平成22年度中に平日の夜4回程度(紀北町役場会議室)
- ・視察研修は2泊3日(町外先進地)
- *申込書は本庁企画課にあります。
- *申し込み期日は6月18日(金)午後5時まで

< 問い合わせ・申し込み >

本庁企画課 TEL 3 2-3 9 0 3 FAX 3 2-2 3 3 1
E-mail : kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp



「イタリア料理教室」参加者募集のお知らせ

紀北国際交流協会主催による「イタリア料理教室」の参加者を募集いたします。是非お気軽にご参加ください。ケイレブ先生の大好評料理教室の第三弾です。

- 講師 ケイレブ先生(米国出身 尾鷲高校 ALT)
- 日時 6月17日(木) 午後6:45～
- 場所 東長島公民館 調理室(紀伊長島区 旧尾鷲高校長島校となり)
- 料理 チキンパスタ、ミートボールサンドイッチ、サマーサラダ
- 定員 20名(先着順 定員になり次第終了とさせていただきます)
- 募集期間 6月1日(火)～6月14日(月)(ただし、土日曜日を除く)
- 参加費 一般500円(協会員は200円)
- 準備物 エプロン、三角巾

【問い合わせ・申し込み】 紀北国際交流協会事務局(本庁企画課内) TEL 3 2-3 9 0 3



平成21年度情報公開・個人情報保護制度の実施状況

紀北町情報公開条例と紀北町個人情報保護条例による2つの制度が適正に運営されていることをお知らせするために、毎年1回、利用状況を公表しています。

平成21年度の情報公開・個人情報保護制度の実施状況は、次のとおりです。

また、その決定に対する不服の申し立ては1件でした。

情報公開請求の状況

受付件数	全部開示	部分開示	非開示	不存在
159	145	9	2	3

※上記の数字は、町長部局、議会事務局、教育委員会、水道事業管理者を含みます。

選挙管理委員会、公平委員会、監査委員会、農業委員会、固定資産評価委員会に対する請求はありませんでした。

※主な請求内容は、工事設計書に関する文書でした。

個人情報開示請求の状況

受付件数	全部開示	部分開示	非開示	不存在
1	1	0	0	0

※議会事務局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員会、農業委員会、固定資産評価委員会、水道事業管理者に対する請求はありませんでした。

問い合わせ

本庁総務課文書係 TEL 32-3901

第13回紀伊長島郷土資料館企画展

紀伊長島郷土資料館企画展を次のとおり開催しますので多数ご来場ください。

「肖像画展」

増井正美氏

期 間 6月1日(火)～7月4日(日)

※ただし毎週月曜日は休館日

時 間 午前9時～午後4時30分

場 所 紀伊長島郷土資料館ギャラリー

問い合わせ 教育委員会紀伊長島総合支所教育室

TEL 47-1111



町営住宅入居希望者募集

募 集 棟		間 取 り	家賃(月額)
小松原第2みどり団地 (船津)	1戸 C-3号 (1階)	2LDK (和1・洋1・居間 台所・浴室・洗面・トイレ)	19,500円 ～29,100円

※収入によって家賃が変わります。
※申し込み数が多いときは、選考になります。

問い合わせ
本庁建設課管理係
Tel (32) 39110
紀伊長島総合支所産業建設室
Tel (47) 11111

入居指定日

7月16日(金) 予定

応募基準

①(平成22年5月31日現在で)紀北町内に住所または勤務場所を有する方

②基準収入月額 15万8千円以下
(公営住宅法施行令の一部を改正する政令により、平成21年4月1日以降の募集について、基準収入月額が20万円から15万8千円への入居収入基準の改正がありました)

※基準収入月額とは、入居者及び同居者の過去1年間の所得から対象となる控除額を差し引き、12で除した額をいいます。

③入居申込者(同居者含む)が暴力団員であるときは申し込みできません。

受付期間

6月1日(火)～11日(金)
(ただし、土・日曜日は除く)

図書館だより (6月の新刊案内)



町民センター図書室から
「1Q84 BOOK 3」
/ 村上春樹



児童図書館から
「くっついた」
/ 三浦太郎



多目的会館図書室から
「天地明察」
/ 沖方丁

新刊案内「図書名」/著者名

「叫びと祈り」/ 梓崎優
「数えぬの井戸」/ 京極夏彦
「天網 TOKAGE 2 特殊遊撃捜査隊」/ 今野敏
「廃墟に乞う」/ 佐々木譲
「あすなる三三七拍子」/ 重松清
「ミレニアム1 ドラゴン・タトゥーの女(上・下)」
/ スティーグ・ラーソン
「蘭陽きらら舞」/ 高橋克彦
「自白 刑事・土門功太郎」
/ 乃南アサ
「月光の刺客」/ 森村誠一

※新年度より貸出は1人5冊 15日になりました。「今月の新刊」については2冊までをお願いします。

新刊案内「図書名」/著者名

「ネコのホームズ」/ 南部和也
「あついあついひ」/ しのづかゆみこ
「ドラゴンラージャ⑤野望」
/ イ・ヨンド
「ドラゴンラージャ⑥神力」
/ イ・ヨンド
「いればのパッコンはがぬけた」
/ 松田もとこ
「むしばいっかのおひっこし」
/ にしもとやすこ
「しゃっくりがいこつ」
/ マージェリー・カイラー
「もったいないばあさんのいただきます」/ 真珠まりこ
「トゥルビンとメルクリンの不思議な旅」/ ウルフ・スタルク
※借りた本は必ずかえしてください
☆あかちゃんの時からお母さんの膝で絵本を!

新刊案内「図書名」/著者名

【一般図書】
「花迎え」/ 高樹のぶ子
「ゲゲゲの女房」/ 武良布枝
「女を磨くココ・シャネルの言葉」
/ 高野てるみ
「僕の明日を照らして」/ 瀬尾まいこ
「マドンナ・ヴェルデ」/ 海堂尊
「後悔と真実の色」/ 貫井徳郎
「楊令伝 十三」/ 北方謙三
「不等辺三角形」/ 内田康夫
「光媒の花」/ 道尾秀介
「ガラスの巨塔」/ 今井彰
「JAL 崩壊」
/ 日本航空・グループ 2010
「伝える力」/ 池上彰
【児童図書】
「新13歳のハローワーク」/ 村上龍
※借りた本はかならず返してください。

「よみきかせの会」(児童図書館) 6月12日(土) 13:30～
※「よみきかせの会」では、来てくれた子たちの年齢に合わせた絵本や紙芝居を読んでいます。
「おはなし会」(多目的会館図書室) 6月19日(土) 14:00～
対象: 幼児 絵本の読み聞かせ、紙芝居をします。

5/7

発電所見学と稚鮎の放流



5月7日、相賀小学校の児童46人が、尾鷲市にある尾鷲第一発電所を見学し、児童たちは電気の大切さについてのビデオを見た後、施設を見学しました。

その後、キャンプinn海山へ移動し、大きく育つように願いながら、体長約10cmほどの稚鮎およそ4,000匹を放流しました。

5/16

こけ玉作り・お茶会



5月16日、種まき権兵衛の里で、こけ玉作り・お茶会が開かれました。

45名の参加者が2組に分かれて行われました。

こけ玉作りでは、大川さんの指導のもと、植物を使って思い思いの作品を作り、「玄関に飾りたい」など、楽しそうに取り組んでいました。

お茶会では、講師の植村さんが入れた抹茶を、庭園を眺めながら、丁寧に飲んでいました。



4/29

第11回魚飛溪アマゴ釣り大会



4月29日、銚子川で第11回魚飛溪アマゴ釣り大会が開催されました。

34人の参加者は、思い思いのポイントで、餌釣りやルアー釣りで大物を狙いました。

正午ちょうどになると、大会終了の合図が鳴り、参加者は種まき権兵衛の里駐車場へと移動し、それぞれの釣果を報告し、大会の結果、大物賞は31.6cmで、大漁賞は44匹でした。

5/14

シェイプアップボール教室



5月14日、若者センターで、シェイプアップボール教室が行われました。

町内在住で健康運動指導士の竹内みほ子さんが講師を務め、8人が参加しました。

運動は、ボールを足ではさんだりお尻の下にして体を動かすもので、シェイプアップ効果だけでなく、肩こりや腰痛の改善の効果もあるということで、参加者はバランスをとって、意欲的に取り組みました。

消防・警察だより

戸籍の窓

【平成22年4月1日～30日受付分】

救急休日在宅当番表

受診する前に電話で連絡してください。時間は9時～17時です。変更がある場合がありますのでご注意ください。(救急医療情報システム TEL 22-1199)

月日	曜日	尾鷲	電話	紀北	電話
6/6	日	玉置眼科	22-5611	世古ロクリニック	32-1188
6/13	日			垣内胃腸科内科医院	47-4800
6/20	日	三木浦診療所	28-2316	海LLディースクリニック	33-0888
6/27	日			野口内科胃腸科医院	32-2266

お誕生おめでとう

住所	子の名前	保護者
島原	橋倉 桜	一男
東長島	高村 巴菜	頼直
長島	玉木 海	謙治
長島	奥川 楓菜	雅弘
三浦	谷口 颯汰	二郎

ごめい福を祈ります

住所	氏名	(年齢)
三浦	中野千夜子	(72歳)
長島	庄司 節子	(67歳)
長島	宮原 誠一	(66歳)
東長島	竹内 那美	(86歳)
島原	鮎田ときよ	(92歳)
東長島	石原 岩男	(83歳)
長島	宮原 健	(73歳)
相賀	福本 ツル	(92歳)
引本浦	益田 ちみ	(83歳)
上里	齋田喜代次	(94歳)
便ノ山	平見 芳彦	(99歳)
引本浦	二郷 峯子	(62歳)
相賀	面尾 富幸	(76歳)
相賀	上村和歌子	(68歳)
矢口浦	尾上 竹一	(90歳)
相賀	小椋 安廣	(83歳)
引本浦	北村美津代	(73歳)
上里	柴田 敏治	(68歳)
中里	芝原 昌郎	(75歳)
引本浦	光村そのち	(92歳)
矢口浦	津村 群治	(91歳)
小山浦	内藤喜久夫	(83歳)

消防だより

火災・救急発生状況(4月末現在)

火災	区	発生状況						
		総件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
火災	紀伊長島区	2(+2)	2(+1)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)
	海山区	2(-2)	1(-1)	0(±0)	0(-1)	0(±0)	0(±0)	1(±0)
	組合管内	6(-4)	3(-3)	0(±0)	0(-2)	0(±0)	0(±0)	3(+1)

救急	区	発生状況					※組合管内は、三重紀北消防組合管内の件数
		総件数	急病	交通事故	一般負傷	その他	
救急	紀伊長島区	121(-34)	72(-31)	10(-8)	19(+4)	20(+1)	()は前年比
	海山区	136(-13)	95(-8)	9(-1)	21(-2)	11(-2)	
	組合管内	579(-42)	363(-49)	41(-11)	103(+24)	72(-6)	

警察だより

免許証の住所が紀伊長島区の方のみ

6月の免許更新日(8日・22日)

受付時間 9時～14時/優良・一般 15時～16時

※問い合わせは尾鷲警察署交通課免許係 (TEL 25-0110) までお電話ください。

交通事故発生状況(4月末現在)

	交通事故総件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
紀北町	124(-17)	24(-5)	0(-1)	32(-20)	100(-12)
尾鷲署管内	270(-1)	54(-14)	0(-2)	70(-25)	216(+13)
三重県内	20,498(+582)	3,779(-75)	40(+6)	4,993(-146)	16,719(+657)

()は前年比

寄附金	金額	寄附者
日本土石工業株式会社	三万円	代表取締役 椋野 伶史
(紀北町へ)	三万円	カラオケ舞
カラオケスタジオ六本木	二万一千〇円	
喫茶オレンジとゆかいな仲間達	十万円	
引本浦	一万円	北村 文弘
相賀	三万円	上村 一隆
矢口浦	五万円	尾上 銀也
相賀	二万円	内藤 敬士
引本浦	三万円	柳 忠文
便ノ山	二万円	平見あさ子
引本浦	二万円	岩崎 紀之
上里	三万円	濱田 英利
長島	三万円	長井 司
東長島	三万円	山吉 道彦

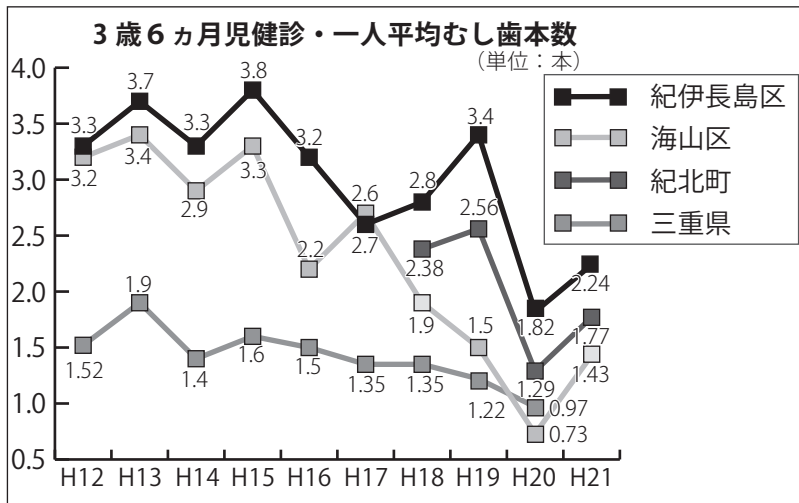
(紀北町社会福祉協議会へ)

歯の衛生週間

～かみしめる 生きる喜び 歯とともに～

6月4日(金)～6月10日(木)は、歯の衛生週間です。この習慣は、歯の衛生に対する正しい知識を普及し、むし歯や歯周病などの歯の病気を予防する生活習慣を身につけてもらい、併せてその早期発見、早期治療を徹底し、健康の保持、増進に役立ててもらうことを目的としています。この機会にあなたもお口の健康について考えてみましょう！

《 紀北町の子どものむし歯の現状 》



平成 21 年度の紀伊長島区の 3 歳児の一人平均むし歯本数は、2.24 本、海山区は 1.43 本で、10 年前と比べると半分に以下に減っています。三重県の平均は 0.97 本 (平成 20 年) で、むし歯がない子どもが多くなってきています。紀北町は、三重県の中ではむし歯の子どもが多い町という残念な結果が出ています。

《 むし歯予防のポイント 》

① 定期健診を受けましょう

歯周病は、自覚症状が少なく多くの場合かなり進行してから異常に気づくことが多いです。歯科医院で定期的なチェックと指導を受けることで予防や早期治療ができます。

② 甘いものは控えめに！

- ・間食は、水分(水・お茶)と一緒にとりましょう。
- ・だらだら食いは、やめましょう。間食の回数が多いと口の中が汚れる回数も増えるので、むし歯ができてやすくなります。

③ フッ化物を利用しよう！

フッ素は歯の質を強くし、酸に負けない歯を作ります。歯科医院でフッ素塗布を受けたり、家庭ではフッ素入りの歯磨き剤やスプレーを使用して歯を強くしましょう。

《 日本脳炎予防接種のお知らせ 》



日本脳炎予防接種は、平成 17 年から積極的勧奨を行わないように勧告されていましたが、平成 21 年 6 月より新しいワクチンで日本脳炎 1 期の接種が開始されました。

例年 6 月から 9 月にかけて、日本脳炎ウイルスの抗体を保有する豚が西日本を中心に三重県でも確認されています。

日本脳炎予防接種 1 期は、3 歳のお誕生日が過ぎたら接種対象者です。接種回数は、1 期初回は、3 歳時に 2 回、1 期追加は、4 歳時に 1 回です。1 期初回の接種が済んでいないお子さんは、できるだけ 4 歳になるまでに接種していただきますようお願いいたします。(4 歳を過ぎても 7 歳 6 カ月までは接種可能です)

なお、2 期及び積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃したお子さんの対応については、現時点では十分なワクチンの量が確保されているとはいえない状況にあると考えられることから、予防接種法におけるワクチンの使用の可否が明確になった時点で、改めてお知らせします。

【接種医療機関】

かとう小児科、木ノ内医院、三浦診療所、尾鷲病院、長野内科小児科、上田医院 (直接電話で予約してください)
 * 垣内胃腸科内科(老人福祉センターTel32-3912 又は保健センターTel47-4750 に電話で予約してください)

お知らせ

赤ちゃん相談&おやこ広場

6月11日(金) 保健センター
6月14日(月) 老人福祉センター

【時間】10:00～11:30
【持ち物】母子健康手帳



おやこサークル

たんぽぽ(海山区)

【日程】6月1、8、15、22、29日[いずれも火曜日]
(10:30～11:30)
【場所】老人福祉センターにお問い合わせください
(Tel.32-3912)

プチ・キッズ(紀伊長島区)

【日程】6月2、9、16、23、30日[いずれも水曜日]
(10:00～11:30)
【場所】保健センター2階(Tel.47-4750)

3歳6ヵ月児健康診査

6月10日(木)老人福祉センター

【受付時間】9:00～9:45
【対象者】H18.10.9～H18.12.10生まれのお子さん
★対象者には、通知書を郵送します。
通知書が届かない方はご連絡ください。
老人福祉センター (Tel.32-3912)
保健センター (Tel.47-4750)



400ml 献血のお願い

6月3日(木)
老人福祉センター 10:30～13:00
" 14:00～16:30

6月18日(金)
引本浦集会所 10:30～13:00
菖蒲園 14:30～16:30

献血にご協力いただける方

- ・18歳～69歳の方
(65歳以上の方は60～64歳の間に献血経験がある方)
 - ・体重が男女とも50kg以上の方
- ★皆様のご協力をお願いします。



4月に実施した3歳児健診で むし歯がなかった お子さんをご紹介します

☆受診人数：19人
☆むし歯がなかったお子さん：13人

三宅	出口	谷口	川端	兵後	中野	水谷	森	衣川	武村	岡崎	長井	濱西
期晴くん	幸助くん	生起くん	利空くん	煌羅くん	雅也くん	駿希くん	ちなみちゃん	愛結ちゃん	仙祐くん	玲瑠くん	真祐くん	穂乃佳ちゃん



一般健康相談(血压・尿検査等)

6月2日(水)
船津集会所 9:30～10:30
新田集会所 10:45～11:15
東長島公民館 10:00～11:00

6月3日(木)
白浦集会所 9:30～10:10
島勝漁村センター 10:25～10:55

6月4日(金)
便ノ山集会所 9:30～10:00
木津集会所 10:15～10:45

6月9日(水)
馬瀬集会所 9:30～10:00
河内区民会館 10:15～10:45
保健センター 10:00～11:00

6月16日(水)
赤羽出張所 9:30～10:15
此ヶ野公民館 10:45～11:15

6月23日(水)
下地集会所 13:30～14:00
志子奥集会所 14:15～14:45

6月24日(木)
中桐会館 9:30～10:00

6月25日(金)
小山浦集会所 13:30～14:00
引本公民館 14:15～14:45

7月1日(木)
白浦集会所 9:30～10:10
島勝漁村センター 10:25～10:55

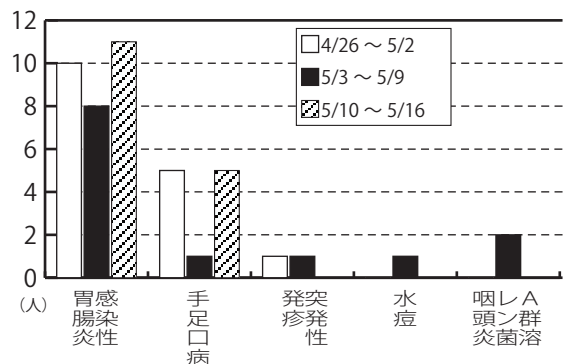
7月2日(金)
便ノ山集会所 9:30～10:00
木津集会所 10:15～10:45

7月7日(水)
船津集会所 9:30～10:30
新田集会所 10:45～11:15
東長島公民館 10:00～11:00

感染症情報 (4月26日～5月16日分)

紀北地区の感染症の動向をお知らせします。

※詳しくは「三重県感染症情報センター」のホームページ
(<http://www.kenkou.pref.mie.jp/kansenmenu.htm>) をご覧ください。



6月の お知らせ

事業主の皆様へ

労働保険の 年度更新について

労働保険（労災保険・雇用保険）の平成21年度確定保険料と平成22年度概算保険料の申告・納付期間は、**6月1日（火）から7月12日（月）**までです。
お忘れなく！お早めに申告・納付をお願いします。
年度更新集金受付会
日時 7月8日（木）・9日（金）・12日（月） 午前9時～午後4時
場所 県内各労働基準監督署
※申告書の記載について不明な場合は、次のものを持参してお越しください。

普通救命講習

日時：6月12日（土）午後1時～4時
場所：紀伊長島総合支所3階会議室

精神保健福祉相談

日時：6月21日（月）
場所：保健センター
※事前予約が必要です。保健センターまでご連絡ください。
Tel 47-4750

①概算・確定労働保険料、一般拠出金申告書

②作成した平成21年度分（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の賃金集計表

一括有期事業のうち建設の事業については、工事台帳等（請負金額、工事期間等が確認できるもの）

③事業主印鑑（法人の場合は、代表者の印鑑）

問い合わせ

三重労働局総務部労働保険徴収室
Tel 059（226）2100

交通遺児奨学生の 募集について

保護者等が交通事故で死亡又は重い後遺障害等で働けな

くなり、経済上の理由で修学が困難な高等学校以上の生徒・学生に奨学金の貸与を行っています。

問い合わせ

財団法人 交通遺児育英会
Tel 0120（52）1286
（フリーダイヤル）

受付時間 午前9時～午後5時30分（土、日曜日、祝日を除く）
ホームページアドレス
<http://www.kotsuji.com>

無料法律相談

（予約制）

弁護士による無料法律相談を次のとおり開催します。
なお、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日程	時間	場所
6月11日（金）	午後1時30分～4時	老人福祉センター（海山区）

日程	時間	場所
6月28日（月）	午後1時30分～4時	社会福祉会館（紀伊長島区）

※相談を希望される方は各会場定員10名です。前日までに本庁住民課住民係まで予約のご連絡をください。

問い合わせ

本庁住民課住民係
Tel（32）3907

紀北町健康体操 発表セレモニー＆ ウォーキング大会

紀北町をより元気にするオリジナル体操『紀北町健康体操』が完成し、お披露目セレモニーとウォーキング大会を開催します。
ぜひご参加いただき、みんなでより元気になりましょう。

開催日 6月20日（日）
午前10時～正午

場所 東長島公民館（紀伊長島区）

内容

- ・体操の解説と効果など
- ・紀北町健康体操の発表
- ・ウォーキング（雨天は講演会）

講師 体操創作者・平岡令孝さん（平岡健康開発研究所長）

特別出演 体操の作詞作曲・高石ともやさん（フオークシ

ンガー）
服装 動きやすい服及び靴
問い合わせ
本庁福祉保健課地域保健係
Tel（32）3912

未来に残そう 青い海

尾鷲海上保安部は熊野灘の美しい海を守り隊！

海上保安庁では、6月1日（火）から6月30日（水）までの1ヶ月間を「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに海洋環境保全指導・啓発活動を実施し、

- ◆ごみのポイ捨てをしない！
- ◆一般廃棄物や産業廃棄物を投棄しない！

◆使用しなくなった船や筏を放置したり、捨てたりしない！
等の不法投棄防止を訴えるとともに、廃棄物や船の不法投棄等の情報提供を呼びかけ、海洋環境保全を推進します。

問い合わせ

尾鷲海上保安部
Tel（25）0118

平成22年度教科書展 示会のお知らせ

平成23年度から小学校で使われる教科書の各社見本本が閲覧できます。

期間 6月18日(金)～7月1日(木)

時間 午前9時～午後5時

場所 紀北教育会館1階大ホール(紀北町海山区相賀)

問い合わせ
教育委員本庁学校教育課

TEL(32) 3914

水稲共済加入の皆様へ

掛け金の納期限は

6月30日(水)です!

平成22年度水稲共済について、掛け金の納入期限は6月30日(水)です。納付書等が届きましたら、内容をご確認のうえ、納期限までにお納めください。

また内容に変更のある場合はお問い合わせください。

問い合わせ

東紀州農業共済事務組合紀北支所

TEL(47) 1477

企画展「シリーズ 熊野のお祭り 紀北町の関船祭り」

三重県立熊野古道センターでは、三重県東紀州地域のお祭りを紹介して行きます。

今年度は、第一弾として紀北町の「関船祭り」です。

引本神社の秋の例大祭「関船祭り」の主役である、勇壮にして華麗な「お関船」の実物をご覧いただけるなど、港町の威勢あるお祭りの企画展です。

開催期間

7月11日(日)まで
午前9時～午後5時

会期中無休

入場料 無料

場所 展示棟企画展示室

主催 三重県立熊野古道センター

共催 紀北町

****付属企画****

「紀北町のお祭りがやってくる!!」

便ノ山の権兵衛踊りと紀北

町各地に伝わる舟唄の実演とともに、地域のお祭りや伝統

行事に詳しい東成志さんによる講演会《紀北町のお祭り

関船について》を開催します。見て、聞いて、学んで、お祭りの真髄にせまってみませんか。

日時 6月13日(日)午後2時～4時

場所 熊野古道センター 展示棟映像ホール・芝生広場

定員 100名(申込不要)

参加料 無料

出演 種蒔権兵衛保存会・紀北町相賀の関衆・引本唄子会のみなさん

講師 東成志氏(元三重県祭行事調査員)

問い合わせ

三重県立熊野古道センター
TEL(25) 1170

放送大学

学生募集案内

放送大学は、自宅で学べる通信制の大学です。

平成22年度第2学期(10月入学)の教養学部学生及び大学院修士選科生・修士科目生を募集しています。

学生の種類

- ・全科履修生(大学卒業を目的に学ぶ)
- ・選科履修生(1年間在学し、興味のある科目を選ぶ)

・科目履修生(半年間在学し、興味のある科目を選ぶ)

入学資格 入学試験はなく、大学卒業を目的とする全科履修生は18歳以上で、高等学校卒業、またはこれと同等以上。他は、15歳以上であれば可能です。

学習方法 自宅のテレビ(CSデジタル放送またはケーブルテレビ放送)で放送授業を視聴するか、放送大学三重学習センター(三重県総合文化センター内)のビデオテープ

等を利用して学習します。※ケーブルテレビは一部地域で視聴できない場合があります。

募集期間 6月1日(火)～8月31日(火)

問い合わせ
放送大学三重学習センター
TEL059(233)1170

「特定健診」で年に1度の健康チェックを!!

平成20年度から始まりました「特定健診」が今年で3年目を迎えます。

健診は病気の早期発見・早期治療はもちろんのこと病気を予防するためのものです。病気になると医療費の負担が増えるばかりでなく、大切な時間も費やし、家族にも大きな負担をかけることとなります。自分のからだを定期的にチェックして元気に暮らしましょう。

「特定健診」の詳細については7月号にてお知らせします。

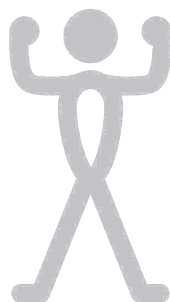
問い合わせ

本庁住民課 国保・年金係 TEL32-3907

紀伊長島総合支所 住民室

国保・年金係

TEL47-1111





さわやか 満1歳 笑顔

「さわやか笑顔」のコーナーに掲載希望の方は、誕生月の前月の10日までに本庁企画課広報係までお申し込みください。



國分 悠平くん
ゆうへい
平成21年6月25日
お兄ちゃんとアンパンマンが大好き。
<東長島>義晴・百絵さん



濱口 梓海ちゃん
あすみ
平成21年6月17日
ご飯大スキ！散歩大スキ！いつもニコニコ元気イッパイの梓海です♥
<海野>敬哉・陽子さん



喜多 暦ちゃん
こよみ
平成21年6月22日
きょうだいなかよく、あかるくてやさしいこになってね。
<小山浦>敦・珠美さん



米倉 明日夢くん
あすみ
平成21年6月20日
お兄ちゃん 大好き♥な あすくんです。
これからも 兄弟 仲良くね。
<相賀>大作・愛さん



大田 さあやちゃん
平成21年6月23日
我が家の元気の源！！
いたすら大好き♥さあやです♪♪
<相賀>広明・さなえさん

5/15 グラウンドゴルフ・ドッジボール大会



5月15日、東小学校の校庭でグラウンドゴルフとドッジボールの大会が開かれました。紀伊長島区内の小学校に通う1年生から6年生およそ50人が参加しました。
グラウンドゴルフでは慣れないクラブで一発懸命ボールを打ち、全員で6ホールを回りました。ドッジボールでは、どのチームもお互いに声を掛け合いながら試合を楽しんでいました。